

群馬県伊勢崎市	●活動名 剛志学府	●関係する学校名 伊勢崎市立境西中学校 伊勢崎市立境剛志小学校
---------	--------------	------------------------------------

協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成29年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	1人	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	11人	
ボランティアの数	延べ登録人数	178人	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有
参考URL	http://www.isesaki-school.ed.jp/sakainishichu/					
●連絡先	伊勢崎市立境西中学校		☎ 0270-74-1068			



●活動の概要・経緯

伊勢崎市立境西中学校は、平成29年度に伊勢崎市教育委員会からコミュニティ・スクールの指定を受けた。そこで、境西中学校学校運営協議会(以下、学校運営協議会)を設置し、境西中地区(剛志地区)全体の子供たちの健全育成を目指した運営を通して、家庭や地域社会と連携して地域における教育の活性化に努めている。令和元年度に、剛志地区の学校・家庭・地域が目指す子供像や目指す地域像(目標)について熟議し、目指す子供像を「自ら考え、判断し、決定し、行動する子供」、目指す地域像を『『自律』した大人が暮らすまち』と決め、剛志学府として地域と学校の連携・協働を推進している(「学府」とは、中学校区を単位として学校と地域が連携・協働し、目指す子供を育てていこうとする伊勢崎市独自の教育施策)。また、令和元年度末に『『剛志学府』目指す子供像』ののぼり旗を作成し、目指す子供像が地域に浸透するように取り組んでいる。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①西中生がつくる弁当の日の実施:年4回実施した。そのうち1回は、夏季休業中の公民館主催による「子供クラブ お弁当づくり教室」において、小学生に協力しながら一緒に弁当づくりを体験した。弁当の日の実施に当たり、西中の美術部員がポスターを作成した。
- ②地場野菜生産者との交流:年8回実施した。地場野菜生産者による講話や、農家やJA、食生活改善推進員、伊勢崎ブランド「農&食」戦略会議等からの協力を得て、農業体験や郷土料理づくり(地元のごぼうを題材としたふるさと学習)を実施した。
- ③地域への食育活動の啓発:公民館にて「いただきます その後ののはなちゃんのみそ汁」の上映会を実施し、のぼり旗を作成した。

【実施に当たっての工夫】

・境西中学校長をはじめ境剛志小学校長、境剛志公民館長、地区区長会代表、青少年育成推進員代表、民生児童委員代表、保護者代表等が学校運営協議会のメンバーになっており、この組織が地域学校協働本部を兼ねている。そして、保護者や地域、小学校や公民館と連携を密にとりながら推進している。

【関係機関・団体等との連携状況】

- ・弁当の日の開始時に「いのちをいただく」の読み聞かせや、弁当の日の食材購入に向けたポスター掲示等において、株式会社フレッセイ(地域のスーパー)の協力がある。
- ・地場野菜を使った郷土料理の調理実習で、食生活改善推進員や伊勢崎ブランド「農&食」戦略会議の協力がある。
- ・地域ブランド野菜農家の方を講師に招いた講演会を実施している。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・学校運営協議会が中核となり、剛志地区全体の子供たちの健全育成を目指した食育活動を推進することで、地域全体で子供たちを育てていこうとする気運が高まってきている。
- ・活動について回覧板等を通して地域に広く周知を図ったことで、多くの地域人材が地域学校協働活動に関わるようになった。
- ・生徒たちは、自分で弁当をつくることを実践し、自己の価値を認め、働くことの意味を知り、家族への思いやりをもつことができた。
- ・生徒たちは、地場野菜生産者との交流や農業体験を通して、地域の特産品の味や生産者の思いを知り、地域への愛着を深めることができた。

●その他

地元企業の専門家による講義や食材の提供を受け、調理実習などを実施した。また、「弁当の日」を年4回実施し、自分たちで食材の準備や調理など、苦勞して弁当をつくり、その弁当を楽しく食べながら、日々つくってくれている親に感謝の気持ちを持つことができた。



をは弁当の日の様子。この日は全校の一緒に食堂で食



本校の美術部が作成した一枚の